

第6回八王子駅北口駅前広場改善検討協議会
議事要旨

日時：平成22年11月17日（水）15：00より

場所：クリエイトホール10階 第2学習室

出席者

（委員）鹿島 茂、並木 勇、小峰 千春、宮瀬 睦夫、青木 訓行、前野 博、味岡 隆士
高津 徹、虻川 正毅、伊田 修、三木 健明、内田 瞭、小島 敏行、小林 隆宣
西田 和夫、天賀谷 通忠、榎本 了
杉浦 貢（代理出席）、野村 昌弘（代理出席）、川武 康晃（代理出席）

1. 開会挨拶（山崎管理課長）

2. 挨拶＜鹿島会長＞

3. 議事

議題（1）第5回協議会での意見・要望事項について

（2）（仮称）八王子駅北口広場改善報告書について

質疑応答

議題（1）第5回協議会での意見・要望事項について

ア. 八王子134号線の歩道拡幅について

イ. 京王プラザホテル前交差点のエレベーター設置について

ウ. 三井住友海上ビルへの説明について

【委員】 事務局の説明の中から、「歩道については6m確保前提」ということで協議されていると
のことで安心しました。

将来的に、このマルベリーブリッジがさらに旭町・明神町地区開発まで延伸するなどの場
合に、エレベーター・エスカレーターの設定が妨げになったり無駄になったりはしないのか。
エレベーターについては活かすことも可能だと思われるが、エスカレーターに関しては、ま
たすぐ、取り外さなければいけないなどの事態にならないかどうか。また、その場合どのよ
うに対応していくのかということをお心配している。

それから、三井住友海上ビルとの離隔距離ですが、ここに50と書いてあるのは50cmとい
う意味だと思うが、それでエスカレーターの下は迂回できるのか。スペース的に50cmの幅
で通るのはかなり大変ではないかという気がするが。

【事務局】 まずエレベーターについてですが、50cmのところは通り抜けできません。1m50と書いて
ある京王八王子駅から八王子駅へ向かう方向からだけの出入りというかたちになります。エ
スカレーターの下については、地上に近い部分は下を通れないですが、2m以上の部分は下

を通ることができます。

エスカレーターについてですが、東放射線の将来計画など、できるかぎり配慮して計画はしておりますが、計画によっては、エスカレーターが支障になることはありうると思われま
す。その場合につきましては、昇降施設の移設を含めて、なるべく費用負担を少なくする検
討を進めて行きたいと考えています。

【委員】 今の事務局の説明で、前回協議会の議事録の1ページにも、「移設しながら使っていく」と書いてあるが、将来構想において邪魔であればいつでも動かすという解釈でいいですね。これは、議事録に留めておいていただきたい。

【会長】 邪魔の定義にもよると思われますが。

【委員】 「移設して使っていくことも考えながら」というように書かれている。ですから、当初から私は階段にしない、階段であれば移設費用もかからないと言ってきたが、作るという大前提があるような雰囲気なので、もちろん反対はしたいが、移設しながら使っていくことであれば、もうあらかじめ計画の中に、「将来構想が出来たときには、エスカレーターを移設します。」ということを書いてもらった方がいいのではないかと。

【会長】 もちろん将来の計画時に妨げになるようなことというのはよくない。

今ここで、後ほど皆さんと議論したいとは思いますが、もともと北口広場の議論が起こったのは2つの面があった。ひとつは、もちろん駅前広場の将来ということ、もうひとつは、具体的にここで問題が起こっていて、現実的に対応しなくてはいけない状況にせまられているということ。この両者の調整をどうするかということで、旭町・明神町地区の計画に全部を負わせて、あちらの計画の方が上で、こちらの計画の方が下だということではない。

もちろん計画の妨げになってはいけないが、計画が決まらないうちから移設をしますというのは、おかしな話ではないかと思われる。検討した結果として、その方が良くということであれば良い、制約にならないようにするのは重要なこと、議事録にご意見として載せるのは当然のことだが、計画の中で移設するということを書かなくてはならないということにはよく分からない。

【委員】 それについては、どちらの計画が上とか下とかの話ではなく、大きな意味ですぐ間近に迫った東京都の土地の開発がある。それと、それに付随した現状の保健所等の計画が、八王子の方であって、それも含めた一体開発をしようというのが八王子市の考えていること。その中で、ペデの延伸という話が出ている方向に、エスカレーター・エレベーターが最初から作られていると、ペデの延伸はどのようにするかという話になる。リングを先に作れば、いろいろなところから結べるので良いのでは、という話をしてきた。いろいろなところで意見を聞いているが、現状では、丁度エスカレーターを設置しようとしている歩道の上にデッキを作る計画が優先的になりそうな気配がある。10年20年先ではなく、すぐ目の前の計画があるのに、そこに作るのはいかがなものかという話。ですからこれを動かします、移設しながら作っていくということであれば、きちんと議事録にとどめて、将来に、「先に作ってしまったので、ペデの延伸はもう出来ない」ということにならないようにという話。

計画の上下は、おっしゃる通り何もないです。

【委員】 この、京王八王子へ行く方のペデの延伸に話が集約してしまったが、もともとは、広場とか北口駅周辺の道路の道路付けが非常に分かりづらい、もう少し長期的な視野を持って、きちっと精査をしていきませんかという話だったと思う。確かに今すぐにはできること、それから長期に時間のかかることがあるかと思われるが、これらについては、バスターミナルも含めて、みんなで考えませんかというのが、一番はじめにこの協議会がスタートしたときの意味だと思われる。そのなかで、歩行者から京王八王子に行くのに関して、非常に不便だという話があることは確かに聞いているが、この道を狭める話、エスカレーターの話というのが長期的視野に立ってきちんと精査された内容には見えない。そのため、長期的視野にきちんと立って、西放射にしても東放射にしても周辺の全部の道について、きちんと精査した上で考えているかどうかを疑問に思っ、先ほどの意見が出たのだと思われる。

将来的には、10年後20年後にはこういったドーナツを作ります。それから西放射線の方にも延伸します。との話が前提にあって、その第1次としてこれをやりましょうというような意味づけであれば非常に分かるのだが、それについても少し不鮮明な気がしている。ともすると今まで対処療法できてしまった駅周辺の道路のような考え方から、基本的に変わってないような危惧がある。そういった意味で、少し長期的に考えてほしい。旭町・明神町地区の開発について、近々に可能性が無い話ではないので、きちんと示してほしいということが先ほどの意見のような気がします。

【会長】 今の意見は、意見としてお伺いすればよろしいか。

【委員】 はい。

【委員】 三井住友海上ビルとの離隔の部分について、50 cmということだが、京王八王子の方向から市道八王子134号線に行く場合、ぐるっと廻る必要があるということか。

【事務局】 エスカレーター下で2 m程度の空間が確保されるところは人が通れます。その下を回りこむかたちになる。

【委員】 では、三井住友海上ビルの前は通り抜けできない状態ということで良いか。市道八王子134号に関しては、現在、歩車道分離用のオレンジ色のポールがあるだけだが、やはりそちらを歩くようになるのか。舗装の整備等安全対策はとらないのか。京王プラザホテル側に渡ってしまえば、そのほうが安心だが、三井住友海上ビル側については、そのままの状態ということで、旭町・明神町地区の開発まで待つという考えか。

【事務局】 市道八王子134号の通行については、現状のとおりで考えている。今回の工事範囲としては、影響範囲を含めた、あくまでも交差点付近までの改善と考えている。

議題（２）（仮称）八王子駅北口広場改善報告書について

【会 長】 現地調査で「現在のマルベリーブリッジのエレベーターが少し狭いのでは」という意見をいただいた。その時の協議会では、現状改善しますと言っていたのではないかと。今回はどうしても事務局が直接行く部分を中心になっているような気がする。そのあたりはどのように理解をしたら良いか。先ほど指摘にもあったが、もともと歩行者と車が交差して危ないということに対して作るものが、より危ない状況を作り出すのは望ましいことではないので、工夫するところは工夫する必要がある。それが、とてつもなくお金がかかるようなことであるとか、先ほどから議論にあったように後の計画を縛ってしまうようなことがないように工夫して検討するのが良いのではないかと。そのあたりについてどのように考えているのか。

【事務局】 主な意見にエレベーターが小さいという意見が入っているので、皆様のご了承がいただけるのであれば、北側のエレベーターの改善を中長期に記載したいと考えている。

【会 長】 本当であれば短期で整備したいことだが、地表部の整備が出来ないことには、難しいため中長期整備ということではよろしいか。皆さんも他に意見があればお願いします。

【委 員】 今のエレベーターの話と同様になるが、既存のマルベリーブリッジに階段だけしかないということに関しては、地表面の改善、中長期改善の中にエスカレーターの設定も含まれているということか。エスカレーターの設定は、すぐに必要だと思われるが、すぐにはできないし、地表面の大規模な改善をしなくてはならないから後にするということか。これは、地表面を改善すれば変わってくるのだろうが、現状としては、階段を上り下りしている現状にみんな困っている。

【事務局】 地表部の形を検討する中でエスカレーターについても合わせて論議していくと考えている。また、それについては協議会の第1回、第2回などでお話させていただいているが、地下駐車場がある関係で、エスカレーターなどの重量の大きい施設を地下駐車場の上に設置することが構造上難しいという話もあり、また、現状で地下から地表に上がるエスカレーターは設置されているため、使い勝手の改善として、案内表示等で改善を進めていくなどの対応を考えている。

【委 員】 先々の改善も難しいということか。

【事務局】 地表面の改善と合わせ、中長期での改善を考えている。現状のバス乗り場にデッキからエスカレーターを設置することはスペース的にも厳しいと思われる。

【会 長】 八王子市のバリアフリーの原則としてエレベーター、エスカレーターの設定の話が出ている中、設置して欲しいところではあるが、現在のデッキ設置時にはそういう議論までは熟しなかったため、今のようなかたちになっている。また、地下へのエスカレーターがある中で、あえて議論するほど、要望も強いというわけでは無いだろうという判断をされたのでは

ないか。ただし、もちろん外周接車の検討時には、合わせて検討を行うということ。

【委員】 市道八王子 134 号の車道について、6mが 4mになっている図面が一人歩きしているような気がする。警察と協議中と言う話だが、4 mが前提になると困るので、図面は 6 mとして記載する方が無難ではないか。それから、エスカレーター図面について、これは三井住友海上ビル側にエスカレーターを寄せているが、東放射線側にもっと寄せて手前を空けるということは、構造的に難しいのでしょうか。エレベーターに関しては多分地下の関係もあるので無理かもしれないが、エスカレーターだけでもこちらに寄せた方が使い勝手が良い気がする。もし、検討の材料があるのであれば、考えていただきたい。

【事務局】 その件については、警視庁等の協議を行うなかで、相談した経緯があるが、やはり、カラオケ館側に行く横断歩道の関係や、エスカレーターの下から歩行者が急に横断歩道に飛び出て車道に出て、車と衝突する恐れや、車が曲がる時に見づらいなど、視距的な問題があるということで採用されなかった経緯がある。

【委員】 東放射線についても西放射線と同様、歩行者道路としてはどうか、検討していただきたい。

【会長】 これは、今後のお願い事項ということでよろしいか。

【委員】 はい。

【委員】 一般車の乗降所はあくまでも地下広場とするということで良いか。と言うのは、駅から降りてきた時、タクシーが何列にも並んでいるのであれば一般車を入れた方がよいのではないかとよく言われるため。地下にするのであれば案内板の設置など入口を良くわかるようにして欲しい。実質、現状でもどこから入るのか分かりづらいのでその点を改善してほしい。

【委員】 関連だが、実証実験は短期で実施することになっているので出来るだけ早く行って欲しい。そうしないと、ずっとこのまま、中長期のバス・タクシーなどと一緒に、手付かずということになりかねない。私は、中長期のパスなどは、上の計画案に合わせて作成すれば良いと思っている。今記載されているパスは、既存の絵に短期のペデの延伸だけを書き込んで、色付けをしているが、そういう配慮はしなくてよいのではないか。せっかく上に計画図があるのだから、それを絵にすればよいのでは。逆にその絵に短期でやるところのみ色付をする。これでは、我々が何回も集まっているのに、ただこのペデの延伸だけの話しで終わってしまわないか。だから、ぜひ、これから早急に地下駐車場の実証実験と、駅広のタクシー・バスの関係を両者と一緒によく話し合いをしていただきたい。今の駅前が使いにくいのだから、それらを進めることが本当は最優先で進めるべき。

【委員】 町会自治会連合会の定例会のときに、旭町・明神町地区のパブリックコメントの話があったが、その中で旭町・明神町地区の質問ではなく、駅前広場の質問があった。その際、庁内に持って帰って話し合いますなどの回答をしていた。多分、事務局にも話がいったと思われる。

【委員】 パブリックコメントの話がでたが、ぜひこの計画もパブリックコメントをやってほしい。市民 100 人近くからアンケートをとったのはわかるが、広く、市民に、ここを利用している人達がどのようなことを考えているかという意見をぜひ集めてほしい。

【事務局】 パブリックコメントについては、中長期計画が、タクシー事業者・バス事業者との協議が完全に煮詰まっていない段階のため実施は難しい。今後、関係機関、事業者との協議を進めて、この協議会の報告書を貴重な資料として中長期の整備計画を定める場合においては、パブリックコメント等を行っていくことを検討したいと考えている。

【会長】 計画部門と実施部門との違いもあると思われるが、パブリックコメント等をかけてはいけないという訳ではないが、かけるところまで、今の段階ではいっていない。関係機関の方々が良いという前に行うのは、実施部門としては慣れていない、ある程度方向性が見えてからということではないか。ただし、そういう意見が出たので、検討はしていただきたい。

先ほどの地下の一般車には駅前が使いにくいということについて、何も対応しないということではなく、報告書の 10 ページには書いてある。11 ページは協議会の経緯なので良いとして、改善の計画には、マルベリーブリッジの東放射方向へ延伸とエレベーターの改修しかないので、ここにも何か入れておいていただいて、がんばってやります。早くやります。という姿勢を示すというのはいかがか。報告書の中身の変更ではないので、報告書の内容の「・・・など」と書いてある中に入っているということでしょうけど、今の条件をうまく反映したかたちで記載してほしい。

要するに基本的に東放射線については、内容に強弱がある。その中に注意事項はいくつかあると思われる。その周辺の部分として、先ほどエレベーターとエスカレーターと現在のブリッジの話を出したが、地下に元気がないので、地下を変える、売店はいろいろな関係から、なかなか出来ないのだが、案内所を作るというようなことを言っていた気がするが、すっかり消えている。こういったものは、先ほどと同じようにどこかに書くのでしょうか。それとも議事録と同じように残ったということで、具体的に考えていただくということで理解して良いか。

【事務局】 案内所については、地下に設置ということで検討していたのですが、現在、他の部で地上部に検討しているところのため、こちらの計画からは省かせていただいている。

【会長】 多分そういうことではないかと思われる。役所内のセクションとして、別の部のところまで書いてしまうということは今の慣例から行くと礼儀知らずとなってしまうので書いていないということ。

【会 長】 他にも、今回のこの関連のところ、皆さんお気づきの点があったらそれを含めてご意見をどうぞ。

【委 員】 地下へ行く魅力が無い。地下に何か集客するような施設があると良い。今は、あれだけの構造物なのにもったいない。ただ駐車場へ行くだけとか、ただ連絡橋とかで本当にもったいないと思う。

【会 長】 最後のときに申し上げるべきではないかもしれないが、ごく一般論として言えば、東京中に地下を掘って、今の地下鉄と同じくらいの物流の専用システムを作るとかの国家プロジェクトを考えたことがある。その際のキーワードは、「人は地上に貨物は地下に」。本来は、今のバス・タクシーなどは、地下という手もあったと思われるが、一回決定されてこのように動いているので、それをもう一回変えるということは、100年計画としてはあり得るかもしれないけど、5年・10年程度であると議論に乗らない、関係者の合意が考えられないのではないかと。財政的にも難しい。そのために、1階分（地下を地上に、地上をデッキに）上げてデッキを人の空間にしようとした。そうすると地下の方が、より魅力がなくなってしまうかもしれないので、そこをどう魅力的なものにするかが、ご指摘のように大きな課題だと思われる。駅前というポテンシャルの高いところなので、よく検討していただきたい。最近の流行は、駅の上に貸しビルとかオフィスビルを作って、駅から歩かないで行けるとか、というようなこと。将来は、いろいろ含めて、それこそもっと長期的にそういうことで議論をしていただけるとよいと思われる。

【委 員】 会長の方でも色々な思いがあって、今まで運営されてきたと思われるが、そういったいろいろ抜けている点についてご不満が多少あるのだと思い安心した。

私も、いろいろ検討して、当初はマルベリーブリッジを作り直し位の話まで出していたが、エレベーターを、外側変えずに中だけ取り替えて大きいものにする話など、いろいろ出ている話を入れて欲しい。

昔、八大門計画という話があったが、その時、バスの流し方を、ひよどりトンネル側から真っ直ぐ駅に向かって来る道を、田中建設のビルとヨドバシカメラの間のところに左折で入れて、それを京王八王子の方を先にまわして、保健所の前を一方通行で駅に来る話があった。そういう話というのも、長期的な目で見ると生きてくる気がする。そうするとそのあたりを少し改修工事すれば、もう少し滑らかなかたちになるし、田中建設と駅前までの部分が片側空いて、バスや、タクシー関係などを集中できるのではないかと気がする。昔、もう20年位前の話かもしれないが、そのような意見も出ていたということで披露させていただいた。やはり、そういう長期的にいろいろ考えてほしいという気持ちがある。10年後、20年後とか我々はこの中に存在しないのかも知れないが、やはり長期的に見て、きちんと将来のことを考えているという部分をもっと盛り込まれてもいいかと思われる。最終的な結論でカギ型とストレート型の部分に集約してしまうというのが、どうも気になる。もう少し、多岐に亘って検討をしたようなことが盛り込まれてもいいのではないかと気がした。

【会 長】 ここで議論した意見が出たところで、今のような提言を、どこかにまとめておいていただ

けないか。ご指摘のように、少し行き過ぎではないかと色々意見もあったらしい。すごく厚い報告書を作っても良いが、誰も見てくれないより、見ていただけるようなものの方が良いだろうということで、結果、現在のようなかたちになってしまっているの、少し付け加える部分があれば付け加えていただきたい。

私が普段参加させていただいているような、20年先の計画であれば、とても自由な議論ができるのだが、すぐ事業に結びついているような計画であると、非常に慎重になる。構想を考える際は、20万分の1位のスケールで考えるが、計画の場合300分の1位の図面で考える。この場合、同じ地図でも鉛筆で書いた一本の線の幅が全然違ってくる。その責任がすごく重い。絵にするとそれがなくなる、本当は、漠然としていて、境界が掛かるか掛からないとかは考えられていなくても、結果として絵にすると出てしまうので、誤解が生まれる、今のところまだ、出しにくいということで、せっかくご議論いただいた部分が落ちているのは指摘の通りだと思われる。その辺を少しカバーできるようにしていただきたい。

【委員】 短期の改善について、期間的・予算的なこともあるので、これ位のところしかできないのかなとも思われるが、中長期の部分が26年から36年ということで、旭町・明神町地区のところどころ重複するとも思われる。中長期の改善に当たってはその都度、今回のような協議会を立ち上げるのか、それとも一つ一つの件に対して対応していくのか。

【会長】 とても難しい質問。今の国みたいに大きく組織替えがあったりした場合、いろいろ変わると思われるが。

【委員】 短期の部分に比べ、中長期の積み残しの分が大分あるので、今後どうなるのか気になる。

【事務局】 旭町・明神町地区の開発については、短期改善を含め、中長期についても、ひとつのまちづくりをしていく上で、無視したものであってはいけないと考えている。短期においても旭町・明神町地区の開発とは十分整合をとっているつもりだが、長期・中長期にあたっては、36年とスケジュールを上げてはいるが、今後、旭町・明神町地区の開発スケジュールが見えてくる中で、それにあわせて、急ぐべきところは急ぎ、また調整しなければいけないところは調整して十分整合をはかりながら整備していきたいと考えている。

【会長】 何か他に意見はないか。特に警察・交通事業者の方々はいかがか。

【委員】 ー意見なしー

【事務局】 会長と報告書をまとめた中で、一つ補足をさせていただきたい。1ページ目の題名の薄く書かれている部分について、事務局の方で勝手に仮称という括弧書きで報告書とさせていただいているが、先生には、委員の皆さんにこの協議会に携わっていただいた思いを込めていただくためにも、題名を白紙にしてはどうかとお願いしていた。ただ、白紙でここをどのような名前にするかというのは非常に難しいとも思われたため、仮称として事務局で案

を作成している。内部の薄い字も同様に考えている。委員の皆様のご意見を伺いたい。

【会 長】 報告書という名前以外の方が、気楽にぱっと見てもらえるのではないかと、あるいはこのような人達が参加してきちんとみんなで議論して決めているということを知っていただいて、八王子に住んでいて良かったとアイデンティティができるということにも繋がって行くのではないかなどと思い意見をださせていただいた。どうせであれば、完成予想図も入れてなどとも思っていたが、少し度が過ぎたようで撤退をしたという経緯がある。

今日ご意見をお伺いした中で、中身を直さないといけないと思われるので、この場でご意見がありましたらご披露いただきたい。

11 ページにある、多分八王子の一番の基本的計画、市全体のいわゆるマスタープランというものが、八王子ゆめおりプランとなっているので、協議会という比較的広い範囲で議論のできる会が出す報告書は、少しやわらかくしても良いのではと考えてもいた。むしろ、なんとなく堅い方が良いという意見もあると思われる。

いつも、このような報告書を作成する時は、最後に厚い方がいいのか薄い方がいいのかと必ず議論になるが、どちらかを選択する必要がある。今回はこのような形にまとめている。

【委 員】 会長がフリーハンドで書かれたプランも、30 年後でも良いのでたたき台として大胆な意見を載せても良いのではないかとという気がする。

【会 長】 先ほども申し上げたように、実施に近いところのセクション、周りもそういうセンスの方たちの中では難しいと思われる。何かの機会に、皆さんから、何か市政記念日などで、市民に意見募集をしたりして少しずつまとめていく場であれば良いが、ここで、私の個人的なものを出すというのは少し難しい。

このような意見をいただきました。皆さん、ありがとうございます。

【会 長】 他に、意見はないか。障害者団体の方はいかがか。

【委 員】 中長期の計画でエレベーターの中身については、検討するという認識で良いか。

【事務局】 エレベーターについては、東放射線の延伸のところは短期、その他につきましては、中長期として考えている。東放射線の歩道の幅は、有効幅員 2 m として考えている。

【会 長】 最初の案は、1 m 5 0 cm で、少し通行に不便ではないか、基準が満たさないのではないかとという意見があって、検討して 2 m となった。

【会 長】 他に、意見はないか。

【委 員】 一意見なし

【会 長】 それでは、題名は報告書というかたちとさせていただきたい。

この報告書については、ご意見をいただいた内容を踏まえて修正をして、配布をもって最終とさせていただきたい。

【委 員】 一了承一

4. 挨拶<榎本副会長>

5. 事務局より報告書について

- ・ 議事録については、12月上旬に配布予定。
- ・ 報告書は修正後、年内配布予定。

6. 閉会

以上